

第9回 松倉とし子

とし子の会
松倉とし子後援会

ニューイヤーコンサート

～魅惑の宵～

New Year Concert

2019
1/15 [火]

パレスグランデール

[本館2F エアルアンティス]

開場 18:00 開演 18:30

チケット 10,000yen

(オードブル・お飲物付・税込)

駒込 綾(Violin)



篠崎 仁美(Piano)



松倉 望(Bariton)

鹿島 武臣(Bariton)

松倉 とし子(Soprano)

お問い合わせ 090-5590-0670 「とし子の会」山形支部長 谷口

Program

Musical Numberより

- ・魅惑の宵 「南太平洋」から
- ・Tonight 「ウエストサイドストーリー」から
- ・Maria 「ウエストサイドストーリー」から
- ・見果てぬ夢 「ラマンチャの男」から
- ・シャルウィダンス 「王様と私」より
ほか

Violin solo

- ・ツイゴイネルワイゼン
- 日本の四季
- ・花の街
- ・浜辺の歌 ほか

歌の花束

- ・雨に濡れても
- ・花言葉の唄
- ・百万本のばら ほか



松倉とし子 (ソプラノ) Teshiko Matsukura

オペラ「フィガロの結婚」(スザンナ役)でデビュー後、数々のオペラの主役を演じる。作曲家中田喜直氏に「日本歌曲を歌うのに大切なものを全て見える」と高く評価され、氏の歌曲、抒情歌、童謡の多くをレパートリーとして、2000年5月に同氏が亡くなる直前まで全国でコンサート活動を共にしたほか、多数のCDを制作。音楽誌上で高評価を受けながら、サントリーホール、カザルスホールなど多数のホールでリサイタルを継続。年間80回に及ぶ演奏活動をこなす。

中田喜直が松倉とし子の声に合わせて作曲した「金子みすゞ詩による童謡歌曲集」は初演から大きな感動を呼び、同氏とのコンサートの中心プログラムとなり全国のホールから招かれ演奏を重ねた。東日本大震災以降は「こたまでしょうか」を求める声がさらに増え続けている。2001年6月にはウィーン楽友協会ホールでの中田喜直作品コンサートに出演。世界中に「金子みすゞの心」を広げながら、NHK-TV「金子みすゞに捧ぐ・松倉とし子音楽ファンタジー」「みんなの童謡」、NHK-FMへの出演で全国のファンに優しい歌声を届けている。

“中田喜直・松倉とし子・ボニージャックス”3つの心のハーモニー”コンサートをスタートさせた19年前から、ボニージャックスとのステージは数多く、レパートリーは童謡からポップスまで幅広い。

故郷山形では、楽しい話をはさみながらのディナーショーや、スイートコンサート、自在なピアノアレンジによる歌声茶論など、多種多様なステージを重ねている。また、中田喜直氏とスタートさせた「童謡の日コンサート」は2018年夏に25回目を開催し、その模様はYBC山形放送にて放映された。

「第29回日本童謡賞特別賞」「NHK東北ふるさと賞」「山形県芸術文化協会賞」「山形市政文化功労賞」など受賞多数。

2015年1月から毎週日曜朝、YBCラジオ「松倉とし子うたの花束」がスタート。多くのリスナーに愛され、好評放送中。

鹿島武臣 (バリトン) Takeomi Kashima

1958年(昭和33年)早稲田大学を卒業したグリークラブ出身の4人(西脇久夫、大町正人、鹿島武臣、玉田元康、現在大町に代わり2003年より吉田秀行が加入)は、作曲家・故 磯部 俊 (いそべ とし)氏より「ボニージャックス」と名付けられて、コーラス・グループを結成しました。

ボニージャックスのレパートリーは、世界各国の民謡、歌曲、黒人霊歌、ジャズ、ポピュラーナンバーと非常に幅広く、5,000曲以上のコーラスアレンジ楽譜を保持しています。

そして常にその中心として歌い続けてきた日本歌曲、抒情歌、民謡、子供の歌ではとりわけ高い評価を受けています。ボニージャックストーンと呼ばれ美しいハーモニーと清潔で明快な歌い方は聞く人の心をなごませ豊かにしてくれます。

2008年に結成50周年を迎え、全国各地及びアジア各国等にてコンサート、ディナーショーを中心に精力的に活動を続けています。



松倉 望 (バリトン) Nozomi Matsukura

3歳からコンサートステージに立ち、11歳で「母と子の思い出」(キングレコード)を制作。美しいボーイソプラノがバリトンに変声し、16歳の夏、山形テルサホール開催の「童謡の日コンサート」に出演。山形交響楽団の演奏でボニージャックスと共演。同年冬、第2作CDを制作。

2015年・2016年、東京伝承ホールコンサートに出演。同年冬、松倉とし子・ボニージャックスと共に第3作CD「母と子の思い出パートⅢ」(キングレコード)を制作。

2017年12月、山形市文翔館で開催されたオペレッタ「カミナリ親子と長者どん」に親雷役で出演。

今秋9月に山形市民会館主催で開催されるミュージカルに出演。

現在、声楽を鈴木集氏に師事。

駒込 綾 (ヴァイオリン) Rya Komagome

山形大学教育学部 総合教育課程 音楽文化コース アンサンブル専攻卒業。

2002年4月から2011年4月まで、山形弦楽四重奏団のメンバーとして研鑽を積む。2015年、2017年、山形市文翔館議場ホールにてソロリサイタルを開催。これまでにヴァイオリンを北嶋智仁、宮林陽子、河野芳春、川瀬麻由美、大伏亜里、山本友重、小池まどかの各氏に師事。

現在、フリー奏者として、クラシックを始めタンゴ、ジャズ、ポップスなど、ジャンルを問わず活動の場を広げている。さらには、オーケストラの弦楽器トレーナーとして、後進の指導に力を注いでいる。『Trifoglio〜トリフォーリオ』『Bouquet de Bijoux』『杜の室内楽』メンバー。

山形北高等学校音楽科非常勤講師。山形市にて『フェルマータヴァイオリン教室』を主宰。



篠崎仁美 (ピアノ) Hiroemi Shinozaki

桐朋学園大学ピアノ科卒業後、ジャズピアニストの父、篠崎哲也の影響を受け、ポピュラーピアニストとしてデビューする。

1984年 クラシックアンサンブルで「蓼科高原音楽祭奨励賞」を受賞。

1987年 「NHK軽音楽オーディション」で自作の曲を弾き語り合格。

1988年 博品館劇場での劇団未来劇場公演でピアニスト兼女優として出演。

1991年 フジテレビ「さんまのあっぱれ大先生」に音楽の先生役で出演。

1996年 第26回「日本童謡賞特別賞」受賞。

2015年10月 自身のプロデュースによるニューアルバム「仁美のララバイ」を発表。

現在、歌って弾けるピアニストとして多彩に活躍中。繊細でダイナミックな演奏で聴衆を魅了する。

その多彩な活動は異色のエンターテイナーとして脚光を浴びている。